



# 第 1360 回例会報告

平成26年4月10日(木)晴

## 会長挨拶

会長 平山隆勇

### 「がんばれ」

早いもので本日の例会は、次年度会長・幹事が基本方針を発表いたします。昨年のやはり4月に、私が次年度会長として会員減少の危機を中心にした基本方針を述べさせて頂いた日の緊張感を今でも思い出します。吉澤次年度会長と海老原次年度幹事には、心から「がんばれ」と申し上げたいと思います。

「頑張る」という言葉にはいろいろな意味があります。辞書を見ると、①間違いないと頑張る(我意を張り通す)②成功するまで頑張る(どこまでも忍耐して努力する)③入り口で頑張る(ある場所を占めて動かない)という様な例文が載っていますが、よく使われるのは②の様な意味だと思います。

頑張るの「頑」は「かたくな」という字ですが、語源は「眼」という字であったと物の本には書いてあります。「目をつける、見張る」という意味から「じっと動かない」、そして「我を張る」、「努力する」へ意味が変化したという説があります。

しかし、今の社会では、この「頑張る」という言葉が嫌われてきています。みなさん御存じの鎌田先生(諏訪中央病院名誉院長)が『がんばらない』と

いう本の中で、「充分頑張っている病人に頑張れというのは酷なことである」と述べておられますが、このことが多くの人をはっとさせました。また、うつ病の人に「頑張れ」は禁句だということを知っている人が知っています。

一方、オリンピックへ行く選手のインタビューで、意気込みを聞くと、昔は「頑張ります」と言う答えが多かったですが、今は「楽しんでいきます」という答え方が多くなっています。

このように「頑張る」という言葉が流行らない時代ですが、東日本大震災の後、「がんばれ日本」という言葉が頻回に使われました。困っている人や努力している人を見ると、人は思わずこの言葉を言ってしまうのです。

「頑張る」という言葉の響きから、「頑固」、「苦勞」とか「根性」などを連想させてしまうことが、この言葉が不人気の理由だと思われそうですが、そうではなく**Do Your Best**(最善を尽くせ)という意味と捉えて、改めて次年度会長・幹事さんに「がんばれ」の言葉を贈りたいと思います。

## お客様のご紹介

みゆきの飯山 RC、RLI ディスカッションリーダー 藤田恭一様が「セブの子供に音楽教育を」事業に興味をもたれ視察にお見えになりました。例会後国際奉仕委員会と話し合いを持ちました。

### ■出席報告

会員数	37名
出席対象	36名
出席者数	26名
出席率	72.2%
前回修正	86.1%

### ■ニコニコ BOX

23名	27,000円
累計	948,000円
目標額	130万円
達成率	72.9%

### ■今週のこぼ

おかげ様で結婚40周年になります。よく我慢しているな  
— 長崎政直  
病み上がりで本日意気込みが伝わるか心配ですが、よろしくお願ひします。

吉澤邦雄



2013-2014 年度 国際ロータリーテーマ  
**ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を**

Engage Rotary, Change Lives

ウィークリーの原稿送付先は PR@suwakorc.net です

## 第 1360 回例会

## 次年度会長指針

会長エレクト 吉澤邦雄

諏訪湖ロータリークラブは本年創立30周年の節目を迎えます。多くの先輩諸氏、多くの同志によって築き上げられた輝かしい業績は私たちの誇り



であり今でも力の源になっています。

さて、2014～15年度のRIのテーマは「ロータリーに輝きを」であります。RI会長のゲーリーC.K.ホアン氏は「ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めロータリーを輝かせてください。これによりロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。」と述べられています。

30周年を迎える本年、当クラブは創立時の気概を忘れることなく、輝きを持ったクラブとして地域社会に存在感を示す一年としたいと思います。クラブ活性化・強化のために周年事業を千載一遇のチャンスとして捉え、会員一人ひとりが今以上にロータリアンとしての自覚を持って行動し、会員増強にも努めていただきたい。また、変わり行く地域社会に応える奉仕活動はどうあるべきか、未来を見据えた事業の再構築のもとに新たな事業展開を模索し、新たな歴史を刻んでいきたいと思えます。なお、大変厳しい経済状況下でもあり、記念式典は出来る限り簡素化し会員相互の親睦と絆を深める場にしていきたいと思えます。

このような記念すべき年に私のような若輩者が会長を仰せつかり、今、その責任の重さを痛感しております。はなはだ微力ではありますが、皆様のご指導とご協力をいただきながら、この大切な一年を精一杯務めて参りたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 持とう自覚を未来のために！

## 基本方針

30周年記念事業を全会員参加のもと意義あるものにして。

1. 記念事業の共有化により会員の相互理解を深めクラブ力を高める。
2. 事業の集大成として記念事業を捉え、公共イメージの向上に活用する。
3. 事業の再構築のもと、夢をもって未来のために行動を起こしましょう。

## 重点事業

1. 30周年記念事業に絡めた五大奉仕事業の推進
2. 会員増強 純増2名以上
3. 新補助金制度による奉仕プロジェクトの実施
4. 東日本大震災への支援継続
5. RI会長賞への挑戦

## 次年度幹事抱負

幹事予定者 海老原十三

第30期30周年記念事業ある大変な時期ですが、吉澤会長をこの細身の体と細腕で支えていきたい。そのために余分な油を落としてロータリーの歯車に使うよい油を蓄えて1年間乗り切る体力を作り、30周年記念事業を皆様とともに成し遂げたいと思えます。

1年間よろしく願いいたします。

## 岩村亀夫会員から季節の花届きました

いつも季節のお花を届けていただく岩村会員から、春の花が届きました。先生の届けてくださる花は、いつも素晴らしくて、家族のものが大喜びしているのは我が家だけではないと思えます。ありがとうございます。



オステオで花風水

オステオスペルマム サンセットセレナ